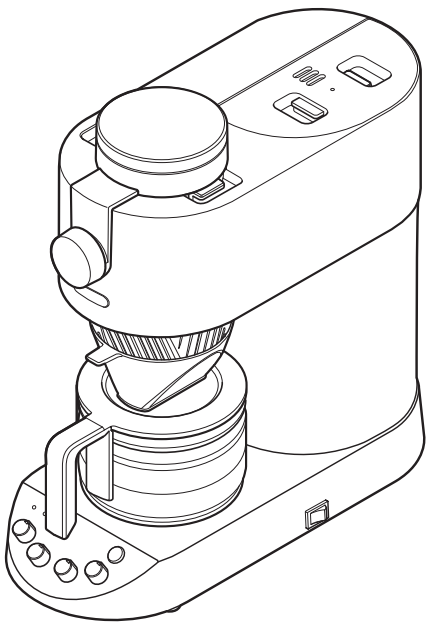
ハンドドリップコーヒーメーカー

ANG-HD-A8

取扱説明書

家庭用



- このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
  特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
- この取扱説明書は必ず保管し、必要なときにお読みください。
- この製品は一般家庭用です。業務用などにご使用にならないでください。

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。
必ず記入を受けてください。

1 安全上のご注意

3 各部の名称とはたらき

5 使いかた

- 5 コーヒーをいれる準備手順
- 7 コーヒーをいれる操作手順
- 10 ミルのみ使用の場合
- 11 クリーニングモード

13 お手入れのしかた

15 こんなときは

16 簡単操作ガイド

17 アフターサービス

18 仕様

19 保証書

安全上のご注意

製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

● 表示の説明

⚠警告 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	⚠注意 「傷害を負うまたは物的損害が発生することが想定される」内容です。

● 図記号の説明

禁止 は、してはいけない「禁止」の内容です。	強制 は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

禁止 **絶対に分解したり修理・改造は行わない。**
発火・感電・異常動作によるけがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはエディオンサービスセンターにご相談ください。

禁止 **本体を水につけたり、水をかけたりしない。**
ショート・感電の恐れがあります。

禁止 **不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。**
畳･じゅうたん・テーブルクロス･プラスチックの置き台などの上で使用しない。
火災の原因になります。

強制 **定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用する。**
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
また、火災・感電の原因になります。

禁止 **製品の隙間や穴に金属製の物（ナイフ・フォークなど）を中に入れない。**
やけどや感電、故障の恐れがあります。

禁止 **子供など取扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたり、手が届くところで使用しない。**
やけどや感電、けがの恐れがあり危険です。

禁止 **電源プラグに異物やゴミを付着させない。**
感電・ショート・発火の原因になります。

強制 **電源プラグは根元まで確実に差し込む。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しない。**
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。

強制 **異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く。**
<異常・故障例>
・電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。
・電源コードに傷が付いていたり、触れると通電したりしなかったりする。
発煙・発火・感電・けがの原因になります。
販売店に点検・修理を依頼してください。

禁止 **電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。物を載せたり、挟み込んだりしない。**
感電・漏電火災の原因になります。

禁止 **電源プラグはぬれた手で抜き差ししない。**
感電の原因になります。

禁止 **火気（コンロ・ストーブ）などの近くや水・油のかかるところで使わない。**
火災や故障の原因になります。

禁止 **壁や家具の近くで使用しない。**
熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。

禁止 **ガラスサーバー、ドリッパーなしで使わない。**
やけどの原因になります。

禁止 **ガラスサーバーのハンドルががたついたり緩んだ状態で使わない。**
やけどの原因になります。

禁止 **ガラスサーバー、ドリッパーを本体にセットしたまま、本体を動かさない。**
やけどやけが、ガラスサーバー、ドリッパー破損の原因になります。

禁止 **使用直後の熱い保温板の上に電源コードをのせない。**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

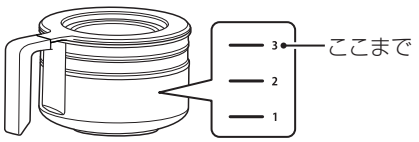
⚠警告

禁止 **ガラスサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで加熱したり、傷つけたり（金属製･ナイロン製のたわしやみがき粉のお手入れを含む。）、無理な力をかけたり、硬いものにぶつけたり、急激に冷したりしない。**
破損やけがの原因になります。割れや欠けが発生したらすぐに使用を中止してください。

禁止 **ガラスサーバーを抜いたとき、保温板にさわらない。**
やけどの原因になります。

禁止 **蒸気口に触ったり、顔や手を近づけない。**
やけどの原因になります。

禁止 **水タンクにガラスサーバーの3CUP（450ml）を超える水を入れない。**
湯がこぼれてやけどの恐れがあります。



禁止 **電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない。**
電源コードが引っかかり、製品が落下して、けがや故障の原因になります。

禁止 **動作中に水タンクふたを開けたり、水を追加しない。**
やけどや故障、誤動作の原因になります。

⚠注意

禁止 **水がかかりやすい場所や底部がぬれるような所に置いて使用しない。**
ショート・感電・故障の原因になります。

強制 **使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。**
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

禁止 **直射日光が長時間あたる場所で使わない。**
故障の原因になります。

強制 **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。**
感電やショートして発火することがあります。

禁止 **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**
感電・ショート・発火の原因になります。

強制 **お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。**
感電やショートして発火することがあります。

強制 **お手入れは使用後、30分以上放置し本体が冷めてから行う。**
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

禁止 **水タンクに水以外のものを入れない。（熱湯、牛乳、コーヒー、アルカリイオン水など）**
故障やふきこぼれの原因になります。

禁止 **ミルにコーヒー豆以外のものは入れない。**
故障の原因になります。

禁止 **水なしで空運転、ミルの連続運転をしない。**
故障の原因になります。

禁止 **製品にふきんなどをかぶせない。**
変形や故障の原因になります。

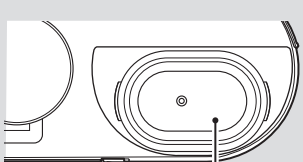
禁止 **ミルのお手入れは、必ず付属のお手入れブラシを使用し、刃に手を触れない。**
けがや故障の原因になります。

禁止 **動作中にドリッパーに手を触れない。**
不意にお湯が出てやけどの原因になります。

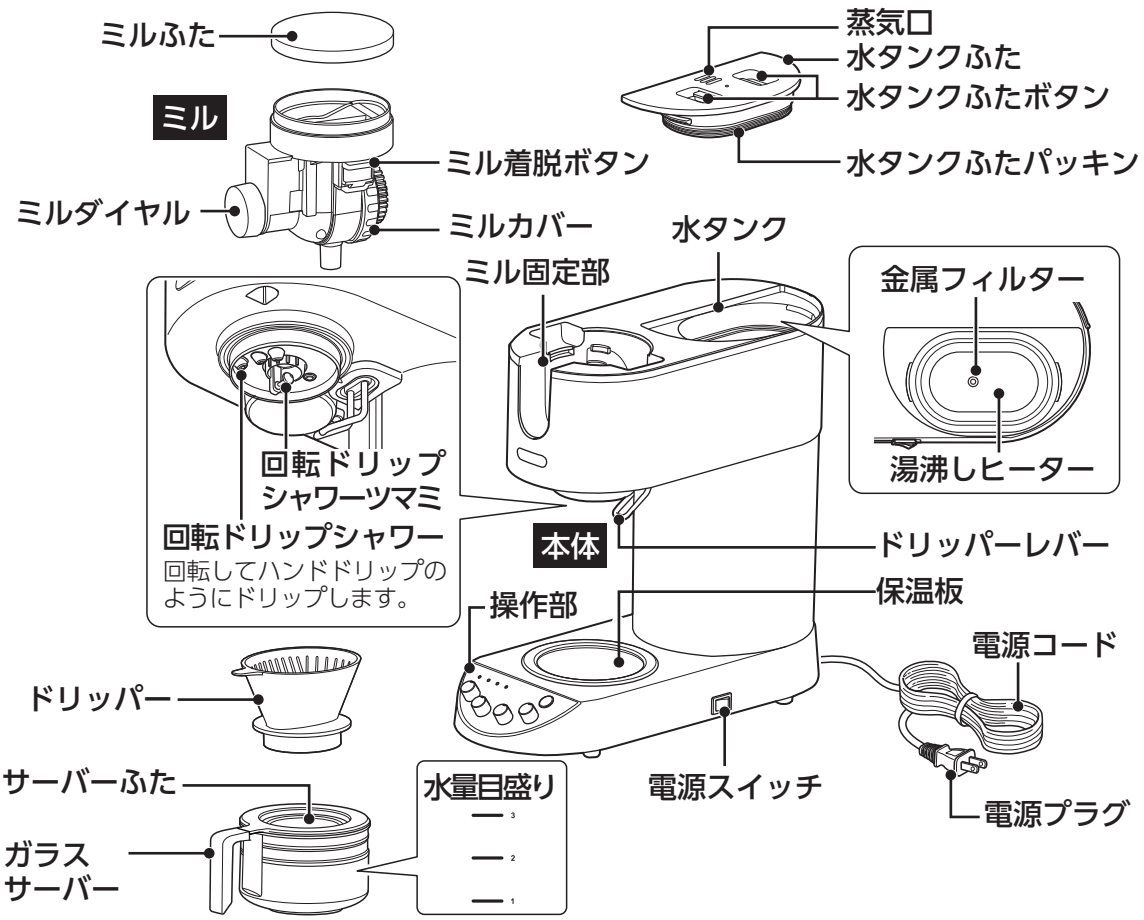
禁止 **ミルのねじをはずしての分解・清掃はしない。**
ミル破損の恐れがあります。

■水タンクについて

ステンレス板に焦げたような模様ができる場合がありますが、内蔵のヒーターに沿ってできるもので、腐食や汚れなどの異常ではありません。



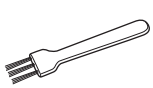
各部の名称とはたらき



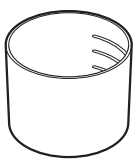
付属品

ペーパーフィルター…5 枚

サイズ「１０２」
(市販の「１×２」または「2～4カップ用」も使用できます。)



お手入れブラシ…1 個

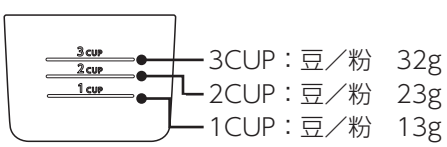


計量カップ…1 個

＜計量について＞

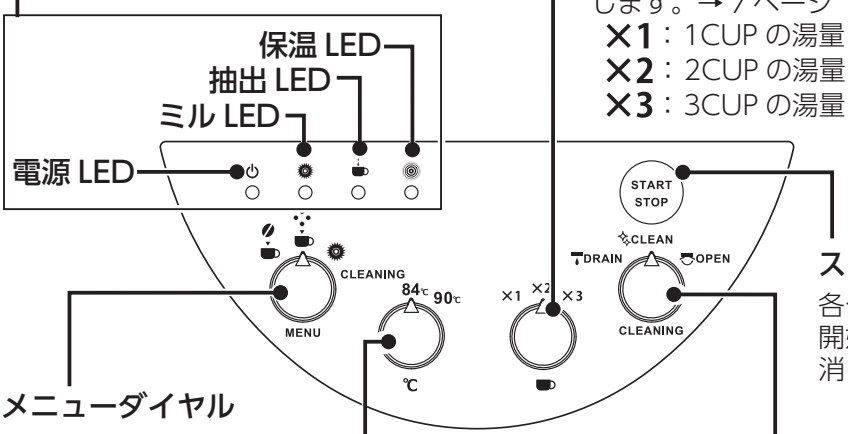
計量カップの目盛りは目安になります。
計量器（はかり）ではかることを推奨します。
→ 5 ページ

＜目盛りの見かた＞



各部の名称とはたらき

操作部



LED
動作の状態をお知らせします。

湯量ダイヤル
カップ数に合わせて湯量ダイヤルを回して選択します。→ 7 ページ

×1：1CUP の湯量
×2：2CUP の湯量
×3：3CUP の湯量

お知らせ

水タンクに入れた水は全て抽出されます。
カップ数に応じた水を入れてください。

スタート/ストップボタン
各ダイヤルで選択した動作の開始や、すべての動作を取り消します。

メニューダイヤル
動作するメニューを回して選択します。→ 7 ページ

：豆から　：粉から
：ミル
CLEANING：クリーニング

抽出温度ダイヤル
コーヒーを抽出する温度を回して選択します。→ 7 ページ

84℃：84℃
90℃：90℃

クリーニングダイヤル
動作するクリーニングのモードを回して選択します。→ 11 ページ

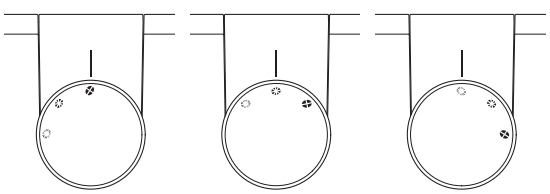
DRAIN：ドレイン
CLEAN：クリーン
OPEN：オープン

ミルダイヤル

コーヒー豆の挽き目を回して選択します。
ミルダイヤルを右に回すと細挽きに、左に回すと粗挽きになります。

お知らせ

ミルダイヤルは粗挽き、中挽き、細挽きの中間では設定できません。中間で設定すると動作時にミルダイヤルが回り、挽き目が不均一になります。



ご使用の前に

初めてお使いになるときや長期間お使いにならなかったときは、次のように洗浄してください。

① ドリッパー、サーバーふた、ガラスサーバーをやわらかいスポンジで食器用中性洗剤を使用し洗います。
② ガラスサーバーで3CUP分の水を計量して水タンクに入れます。
③ ドリッパー、サーバーふた、ガラスサーバーを本体にセットします。
④ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れます。
⑤ メニューダイヤルを粉からに合わせ、スタート/ストップボタンを押します。
⑥ お湯が落ちきって、保温LEDが点灯になるまで待ちます。
⑦ スタート/ストップボタンを押して保温を切り、ガラスサーバーのお湯を捨てます。
上記操作後は②～⑦を１～２回繰り返してください。

使いかた

■ コーヒーをいれる準備手順

コーヒー豆／粉の煎り深さ(焙煎度)や挽きかた、抽出温度の違いによって味わいが違ってきます。表を目安に調整してください。

コーヒー豆／粉の煎りの深さと各設定による傾向		
浅煎り フルーティーで軽い口当たり	煎りの深さ	深煎り コク深く豊かな苦味
粗挽き すっきりとした口当たり	挽き目	細挽き より濃厚なコク
84℃ まろやかな仕上がり	抽出温度	90℃ 苦味が強調

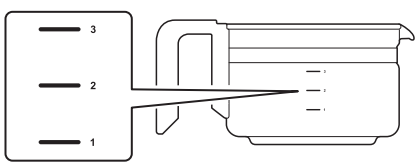
おすすめの煎りの深さ		中深煎り
おすすめの挽き目		中挽き
抽出温度		90℃
コーヒー豆／粉の量※1	3CUP (450ml)	約 32 g
	2CUP (300ml)	約 23 g
	1CUP (150ml)	約 13 g

※1 ガラスサーバー、計量カップの目盛りは目安になります。計量器（はかり）ではかることを推奨します。

1 水タンクに水を入れます。

① 水タンクふたボタンを押しながら水タンクふたを上に引き抜いてはずします。
② ガラスサーバーでカップ数に応じた水を計量し、水タンクに水を入れてください。

お知らせ 水タンクに入れた水は全て抽出されます。水量は必ず計量器(はかり)、またはガラスサーバーではかり､水タンクに入れてください。水が多いとコーヒーが薄くできあがります。



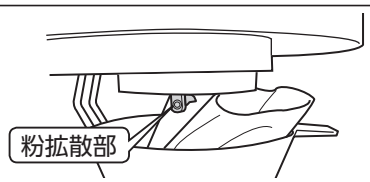
お願い
- 40℃以上のお湯は入れないでください。
- 3CUP (450ml) を超える水を入れないでください。
- ガラスサーバーに粉などの異物が付着した状態で水タンクに水を入れると、水タンク内の金属フィルターが目詰まりし、抽出が遅くなったり、お湯が残る場合があります。異物の付着がないことをご確認ください。

③ 水タンクふたを上から押して本体にしっかりとセットします。

2 ペーパーフィルターをドリッパーにセットします。

ペーパーフィルターの側面を折り、次に底の部分を側面と逆の方向に折ります。側面や底の角を指でならし、ドリッパーにフィットする形にします。
ペーパーフィルターは市販の「1×2」、「102」または「2～4カップ用」を使用してください。

お願い



ペーパーフィルターはドリッパーの底までしっかりセットしてください。
ペーパーフィルターが浮いていると粉拡散部にひっかかり、コーヒー粉／抽出湯がペーパーフィルターの中に落ちなくなります。

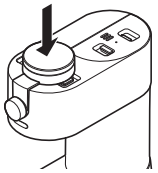
3 ガラスサーバーにドリッパーをセットします。

ガラスサーバーにサーバーふたをセットし、ドリッパーをサーバーふたにセットします。

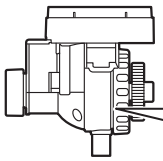
お願い 必ず、専用のドリッパーとガラスサーバーを使用してください。

4 本体にミルをセットします。

"カチッ"と音がするまでミルを本体に押し込みます。



お願い



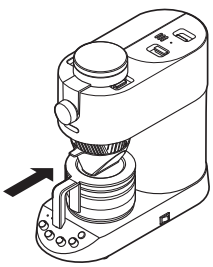
ミルカバーはミル本体との間に隙間がないようにしっかり回して閉めてください。

5 コーヒー豆／粉を入れます。

① 計量カップでカップ数と豆の煎りかたに応じたコーヒー豆／粉を計量します。

〈豆から抽出するとき〉

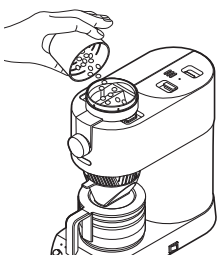
② ドリッパーとガラスサーバーを本体に差し込みます。



お願い

強く差し込まないでください。ドリッパーレバーが強く押されて、故障の原因になります。

③ ふたを開けてコーヒー豆を入れます。



お知らせ

- 入れたコーヒー豆は１度の動作で全て挽きます。

④ ミルふたを閉めます。

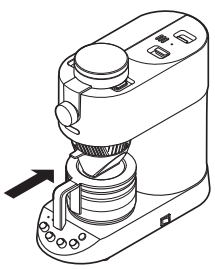
〈粉から抽出するとき〉

② ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れます。

お願い

コーヒー粉はミルに入れないでください。
故障の原因になります。

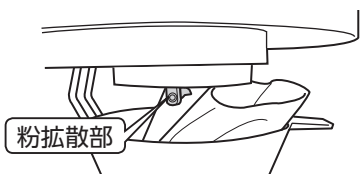
③ ドリッパーとガラスサーバーを本体に差し込みます。



お願い

強く差し込まないでください。ドリッパーレバーが強く押されて、故障の原因になります。

お願い



ドリッパーとガラスサーバーを本体に差し込むとき、ペーパーフィルターが粉拡散部にひっかからないようにセットしてください。
コーヒー粉／抽出湯がペーパーフィルターの中に落ちなくなります。

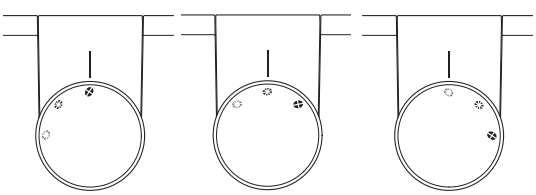
6 挽き目を選択します。

粉から抽出するときは不要です。

ミルダイヤルを右に回すと細挽きに、左に回すと粗挽きになります。

お知らせ

ミルダイヤルは粗挽き、中挽き、細挽きの中間では設定できません。中間で設定すると動作時にミルダイヤルが回り、挽き目が不均一になります。

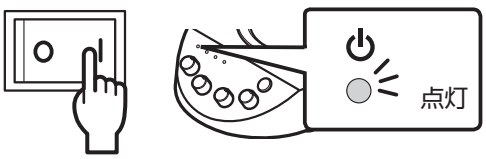


■ コーヒーをいれる操作手順

LED は通常、白く点灯または点滅しますが、誤操作や異常時はいずれかの LED が赤・緑・オレンジに点灯または点滅します。そのときは、15 ページの「こんなときは」をご確認ください。

❶ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。

電源LEDが点灯します。

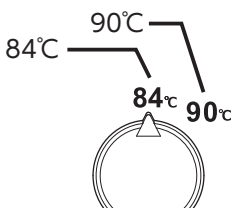


❷ メニューダイヤルで、豆からまたは粉からを選択します。

豆から　**ミル＋湯沸し** ▶ 蒸らし ▶ 抽出 ▶ 保温

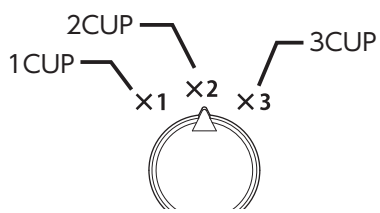
粉から　**湯沸し** ▶ 蒸らし ▶ 抽出 ▶ 保温

❸ 抽出温度ダイヤルで、84℃または90℃を選択します。



❹ 湯量ダイヤルで、1CUP、2CUP、3CUPを選択します。

水タンクに入れた水の量、ミルに入れた豆、またはドリッパーに入れた粉の量に応じて選択してください。



お知らせ

蒸らし湯量の調整ダイヤルです。抽出するカップ数に応じて蒸らし湯量を調整します。
できあがり抽出量の調整ダイヤルではありません。
水タンクに入れた水は全て抽出されます。

お願い

湯量ダイヤルは、必ず水タンクに入れた水量のカップ数に合わせてください。
水量と湯量ダイヤルで選択したカップ数が合っていないと正しい抽出温度になりません。

5 スタート/ストップボタンを押して動作を開始します。

① "ピッ"と音が鳴り動作を開始します。

■ ミルLEDが赤く点滅したら
本体にミルをしっかりとセットしてください。

■ 抽出LEDが緑に点滅したら
ドリッパーを本体にセットしてください。

■ ミルLED、抽出LED、保温LEDが全て点滅したら
ミル部の異常検知機能が働いています。
15 ページ「こんなときは」の "LED のお知らせ④ " をご確認ください。

■ 保温LEDがオレンジに点滅したら
水タンクの空焚き検知機能が働いています。
15 ページの「こんなときは」の "LED のお知らせ③ " をご確認ください。

② 動作の状態をLEDでお知らせします。

抽出後は"ピピッ"と音が鳴り自動的に20分間保温します。
保温中は保温LEDが白く点灯します。

	ミル	抽出	保温
LED	白く点滅	白く点滅	白く点灯
豆から	ミル＋湯沸し	蒸らし	抽出	保温
粉から	湯沸し	蒸らし	抽出	保温

お知らせ

- 保温前の動作中にドリッパーを本体からはずすと抽出 LED が緑に点滅し動作を自動で停止します。
  再開する場合⇒ドリッパーを本体に戻してください。
  再開しない場合⇒電源スイッチを OFF にしてください。

- 抽出後、水タンクに微量の水が残ります。
- 動作中にスタート / ストップボタンを押すと動作を取り消して停止します。
- 室温、湿度、コーヒー豆の種類や状態によって、挽いたコーヒー豆が飛び散ったり本体に付着する場合があります。その場合はキッチンペーパーなどでふき取ってください。
- 使用するコーヒー豆により、ミルの動作時間が異なります。
- コーヒー豆を残さず挽き美味しいコーヒーとするため、コーヒー豆が挽き終わってもミルが動作している場合がありますが異常ではありません。最大５分で自動停止します。
- ミル動作およびお湯が沸いてからドリップを開始します。ミルの動作時間やお湯が沸くまでの時間により、出来上がりまでの時間は異なります。
- 室温が低い場合、抽出されたコーヒーの温度が低くなる場合があります。その場合はガラスサーバーやコーヒーカップをあらかじめ温めてください。
- ミル動作中にミルダイヤルが振動しますが、異常ではありません。

❻ コーヒーをカップに注ぎます。

保温する場合⇒20分間保温します。保温終了後は保温LEDが消灯します。
保温しない場合⇒スタート/ストップボタンを押して保温を切ります。

お知らせ

ガラスサーバーの水量目盛りは水タンクに入れる水量目盛りです。
抽出時、コーヒー粉の吸水によりコーヒーの抽出量はガラスサーバーの水量目盛りよりも少なくなります。

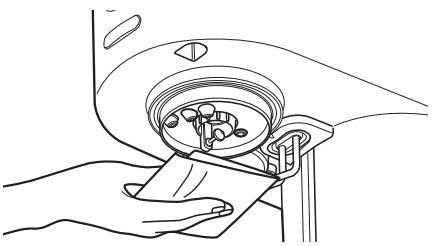
⚠警告

- **ガラスサーバーを抜いたとき、保温板にさわらない。**
  やけどの原因になります。
- **ガラスサーバーを直接火にかけたり、電子レンジで加熱をしない。**
  破損やけがの原因になります。

❼ 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

❽ ドリッパー、サーバーふた、ガラスサーバーを洗います。

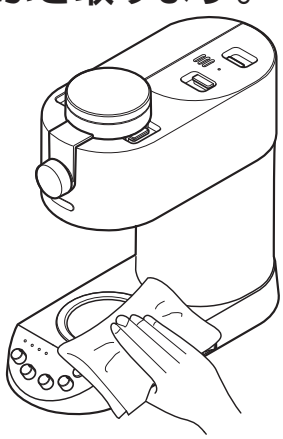
❾ 本体のドリップシャワー部の水滴、コーヒー粉をキッチンペーパーなどでふき取ります。



お知らせ

水滴やコーヒー粉がシャワー部に付着します。
ご使用のたびにキッチンペーパーなどでふき取ってください。

❿ 保温板に水滴やコーヒー粉がある場合は、キッチンペーパーなどでふき取ります。



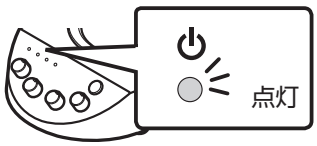
■ ミルのみ使用の場合

❶ コーヒー豆を挽く準備をします。

5・6ページの「コーヒーをいれる準備手順」の❷、❸、❹、❺〈豆から抽出するとき〉、❻の順で準備します。

❷ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。

電源LEDが点灯します。



❸ メニューダイヤルで、ミルを選択します。

❹ スタート/ストップボタンを押して動作を開始します。

"ピッ"と音が鳴り、ミルLEDが点滅し動作を開始します。
コーヒー豆の量に関わらず、５分後に自動停止します。
ミル動作を停止したい場合は、スタート/ストップボタンをもう一度押してください。

お知らせ

- ミル動作中にドリッパーを本体からはずすと抽出 LED が緑に点滅し動作を自動で停止します。
  動作を再開する場合⇒ドリッパーを本体に戻してください。
  動作を再開しない場合⇒電源を OFF にしてください。

- 室温、湿度、コーヒー豆の種類や状態によって、挽いたコーヒー豆が飛び散ったり本体に付着する場合があります。その場合はキッチンペーパーなどでふき取ります。

■クリーニングモード

クリーニングモードとはお手入れのお手伝い機能です。

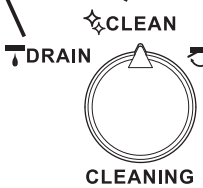
お知らせ 水タンク内がカルキなどで白く汚れた場合はクエン酸洗浄をしてください。

クリーン

お湯を沸して排水します。
水タンクをクエン酸洗浄するときに使用します。

ドレイン

水タンクの水を全て排水します。
- 水を必要以上に入れた場合
- 途中で動作を停止して水が残った場合
- 水タンクをクエン酸洗浄する場合

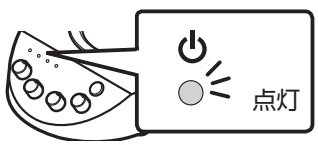


オープン

シャッターを開けます。
ミル固定部のコーヒー粉を清掃するときに使用します。

❶ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチをONにします。

電源LEDが点灯します。



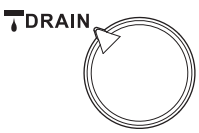
❷ メニューダイヤルで、クリーニングを選択します。

❸ クリーニング操作をします。

■水タンクの水を排水する場合

＜ドレイン＞

1 クリーニングダイヤルで、ドレインを選択します。



2 スタート／ストップボタンを押します。

"ピッ"と音が鳴り、抽出LEDが白く点滅し、排水を開始します。

3 排水が完了すると、"ピピッ"と音が鳴り抽出LEDが消灯します。

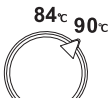
■水タンクをクエン酸洗浄する場合

● 小さじ1杯 (約5g) のクエン酸を準備

<クリーン>

1 クリーニングダイヤルで、クリーンを選択します。

2 抽出温度ダイヤルで、90℃を選択します。



3 水タンクふたボタンを押しながら、水タンクふたを上に引き抜いてはずします。

4 湯量ダイヤルで、3CUPを選択します。

5 ガラスサーバーで3CUP分の水を計量して、水タンクに入れます。

6 小さじ1杯 (約5g) のクエン酸を水タンクに入れ、はしなどでよく混ぜ、水タンクふたを上から押してしっかりとセットします。
汚れがひどいときは、このまま24時間放置してください。

7 ガラスサーバーにサーバーふたとドリッパーをセットし、本体に差し込みます。
ペーパーフィルターは不要です。

8 スタート／ストップボタンを押します。
"ピッ"と音が鳴り、保温LEDが白く点滅し、湯沸しを開始します。

9 排水が完了すると、"ピピッ"と音が鳴り、保温LEDが消灯します。

10 クエン酸のにおいを取るため、水道水だけを水タンクに入れて11ページの<ドレイン> 1 ～ 3 を2～3回繰り返します。

■本体のミル固定部のお手入れをする場合

● お手持ちの皿を準備　シャッターからコーヒー粉が落ちます。保温板の上に散らばらないように、お手持ちの皿を保温板の上に置いてください。

<オープン>

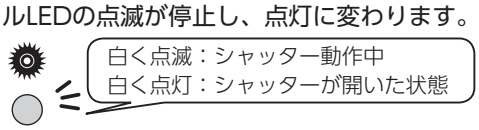
1 クリーニングダイヤルで、オープンを選択します。

2 本体にミルをセットします。

お知らせ 安全のため、本体にミルをセットしないとシャッターが動きません。

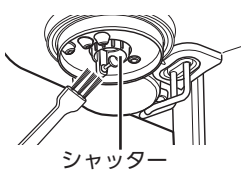
■ミル LED が赤く点滅したら
本体にミルをしっかりとセットしてください。

3 スタート／ストップボタンを押します。
"ピッ"と音が鳴り、ミルLEDが白く点滅し、シャッターが開きます。シャッターが開くとミルLEDの点滅が停止し、点灯に変わります。



4 ミル着脱ボタンを押しながら上に引き抜き、本体からミルをはずします。

5 お手入れブラシで、本体のミル固定部の粉をシャッターの穴から下に落としてください。



6 お手入れ後、本体にミルをセットします。

7 ミルLEDが消灯し、シャッターが閉じます。

お知らせ 動作中にスタート／ストップボタンを押すと動作を取り消して停止します。

4 電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜きます。

お手入れのしかた

必ず電源プラグをコンセントから抜いてお手入れしてください。

⚠警告 **本体を水につけたり、水をかけたりしない。**
ショート・感電の恐れがあります。

⚠注意 **お手入れは使用後、30 分以上放置し本体が冷めてから行う。**
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

お願い みがき粉やたわし、ベンジン・アルコール・シンナー、化学ぞうきん、住宅用・住宅家具用合成洗剤、カビ取り用洗剤などは使わないでください。故障や変形の原因になります。

■ 本体

〈外観部〉

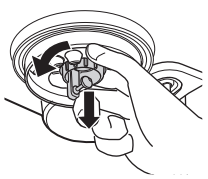
台所用中性洗剤を浸した布を固くしぼってふき、洗剤が残らないように乾いた布でふきとってください。

〈回転ドリップシャワー部〉

①回転ドリップシャワーと回転ドリップシャワーツマミを本体からはずします。
②水またはぬるま湯で洗います。
水洗いのあと、十分に水気を取り、乾かしてください。濡れていると、回転ドリップシャワーの内側にコーヒー粉が付着しつまる場合があります。
③回転ドリップシャワーと回転ドリップシャワーツマミを本体に取付けます。

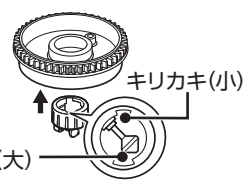
回転ドリップシャワーと回転ドリップシャワーツマミの取りはずしかた

①回転ドリップシャワーツマミを左に回し、下に引き抜きます。

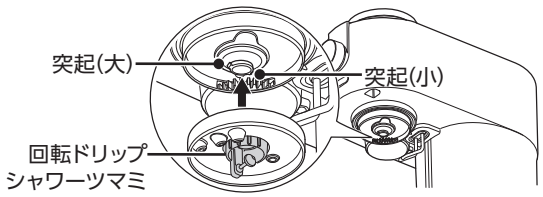


回転ドリップシャワーと回転ドリップシャワーツマミの取付けかた

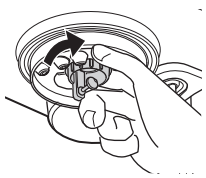
①回転ドリップシャワーツマミの内側のキリカキ（大）を手前にして、回転ドリップシャワーを重ねてください。



②回転ドリップシャワーツマミの内側のキリカキと本体側の突起の位置を合わせます。キリカキ（大）と突起（大）、キリカキ（小）と突起（小）を合わせます。



③回転ドリップシャワーツマミを右に回します。



〈ミル固定部〉 本体のミル固定部に付着した粉をきれいにする場合

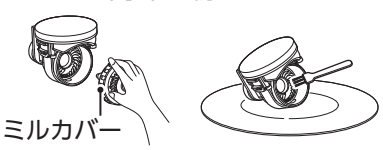
11・12ページのクリーニングモードの操作手順でお手入れしてください。

〈水タンク〉 水タンクが汚れた場合

11・12ページのクリーニングモードの操作手順でお手入れしてください。

■ ミル

① ミル着脱ボタンを押しながら上に引き抜き、本体からミルをはずします。
② ミルカバーを回して、ミルを開けます。お手入れブラシでミル内部の粉を落としてください。

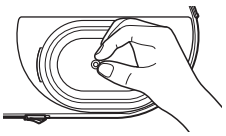


⚠注意 **ミルのねじをはずしての分解・清掃はしない。**
ミル破損の恐れがあります。

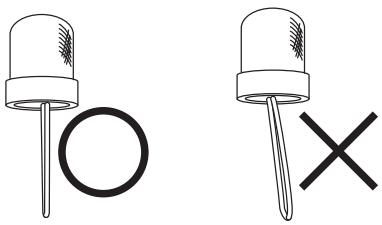
■ お手入れブラシ

乾いた布でふいてください。

■ 金属フィルター



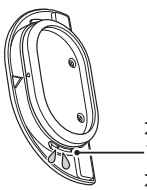
① 水タンクの金属フィルターを手でつまんで取りはずしてください。
② 水またはぬるま湯で柔らかいスポンジなどで洗ってください。
③ 右の○図のように金属フィルターの足をまっすぐにして、水タンクの金属フィルターの縁がステンレス板に接触するまで差し込んでください。



■ ガラスサーバー・サーバーふた・ドリッパー・計量カップ・水タンクふた

台所用中性洗剤を入れた水またはぬるま湯で軟らかいスポンジなどで洗い、洗剤成分が残らないようによくすすいでください。

- 食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。変形、割れの原因になります。



水タンクふたは
フック部の穴から
水を抜いてください

■ アフターパーツについて

アフターパーツのお求めは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

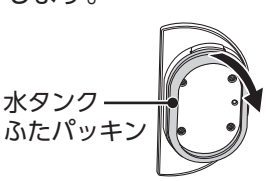
製品番号	製品名	価格(税抜)	
198320	ミル (ミルふた含まず)	8,000 円	
198109	ドリッパー	700 円	
197781	サーバーふた	300 円	
198560	ガラスサーバー (サーバーふた 含まず)	3,000 円	
197771	ミルふた	300 円	

製品番号	製品名	価格(税抜)	
198392	計量カップ	300 円	
794283	お手入れブラシ	100 円	
197787	金属フィルター	500 円	
197758	水タンクふた パッキン	300 円	
198491	回転ドリップ シャワーツマミ	500 円	
198036	回転ドリップ シャワー	300 円	

総額表示義務の特例により消費税を含まない価格を表示しています。
・ お支払い金額は消費税を含んだ金額となります。(小数点以下は四捨五入となります)

水タンクふたパッキン取り替えかた

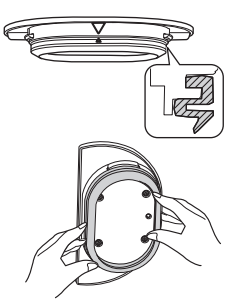
<取りはずしかた>
水タンクふたパッキンをはずします。



<取付けかた>

① 水タンクふたの▼マークと水タンクふたパッキンの▲マークの位置を合わせ、水タンクふたパッキンをはめ込みます。

② タンクふたパッキンは、外周がまんべんなく均等になるように押さえて、水タンクふたの外周と水タンクふたパッキンの内側の溝をぴったりと密着させてください。



こんなときは

修理・サービスをお申しつけになる前に下記の点をお調べください。

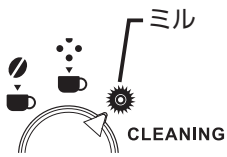
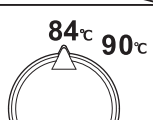
こんなときは？	調べるところ	処　　置
電源スイッチを ON にしても電源 LED が点灯しない	電源プラグがコンセントに差し込んでありますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
LED のお知らせ① 抽出 LED：緑点滅	ドリッパーとガラスサーバーを本体にセットしていますか？	ドリッパーとガラスサーバーを本体にセットしてください。
LED のお知らせ② ミル LED：赤点滅	ミルを本体にセットしていますか？	ミルを本体にセットしてください。
LED のお知らせ③ 保温 LED：オレンジ点滅	水タンクに水が入っていますか？	電源スイッチを一度 OFF にし、再度 ON にして、水タンクに水を入れてください。
LED のお知らせ④ 3 つの LED がすべて点滅 ・ミル LED：赤点滅 ・抽出 LED：緑点滅 ・保温 LED：オレンジ点滅	● シャッターの穴がコーヒー粉で詰まっていませんか？ ● ミル内部にコーヒー豆や異物、粉が詰まっていませんか？	電源スイッチを一度 OFF にし、再度 ON にして、もう一度スタートしてください。 同じエラーが出た場合 ● 本体のミル固定部とミルのお手入れをしてください。→ 11・12・13 ページ ● ミル動作（10 ページ）させながら、ミルダイヤルを粗挽きに合わせ、コーヒー豆を挽く音がしなくなるまで動作させてください。その後、細挽きにしたい場合はミルを動作させながらミルダイヤルをゆっくり細挽きに合わせてください。
● ミルダイヤルが回らない ● ミルが本体からはずせない	● コーヒー豆が挽き終わる前にミルを停止させていませんか？ ● コーヒー豆を入れすぎて、ミルにコーヒー豆が残っていませんか？	ミルを動作させて、ミル内部のコーヒー豆を挽ききってください。
コーヒー豆が挽けない	コーヒー豆が極端に浅煎りだったり、大きくありませんか？	ミルダイヤルを粗挽きに合わせてください。
コーヒー豆がミルに残る	コーヒー豆を入れ過ぎていませんか？	計量カップの 3 CUP 目盛りを超える豆をミルに入れないでください。
水タンクに水が多く残る （微量の水が残るのは異常ではありません）	金属フィルターに異物が付着していませんか？	金属フィルターを取りはずし、お手入れをしてください。→ 14 ページ
コーヒーの味が異常に薄い、濃い	コーヒー豆 / 粉と水の量は合っていますか？	カップ数に応じたコーヒー豆／粉と水を入れてください。
コーヒーの抽出量が少ない	ガラスサーバーの水量目盛りは水タンクに入れる水量目盛りです。 抽出時、コーヒー粉の吸水によりコーヒーの抽出量はガラスサーバーの水量目盛りよりも少なくなります。	
水タンクのステンレス底に焦げたような模様ができた	内蔵のヒーターに沿ってできるもので、腐食や汚れなどの異常ではありません。	
上記の LED のお知らせ①～④以外でいずれかの LED が、赤、緑、オレンジで点滅または点灯	お買い上げの販売店またはエディオンサービスセンターにお問い合わせください。	

簡単操作ガイド

すぐコーヒーをいれる／豆を挽く

<table>
<tr><th></th><th>豆から</th><th>粉から</th><th>ミルのみ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">コーヒーをいれる／
コーヒー豆を挽く
（ミルのみ動作）
準備手順</td><td colspan="2">カップ数に応じた水を水タンクに入れます。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">ペーパーフィルターをセットしたドリッパーをガラスサーバーにセットします。</td></tr>
<tr><td>カップ数に応じたコーヒー豆を計量カップではかります。</td><td>カップ数に応じたコーヒー粉を計量カップではかります。</td><td>カップ数に応じたコーヒー豆を計量カップではかります。</td></tr>
<tr><td>ミルふたを開けてコーヒー豆をミルに入れます。</td><td>コーヒー粉をペーパーフィルターに入れます。</td><td>ミルふたを開けてコーヒー豆をミルに入れます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ドリッパーとガラスサーバーを本体にセットします。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">コーヒーをいれる／
コーヒー豆を挽く
（ミルのみ動作）
操作手順</td><td colspan="3">電源プラグをコンセントに差し込みます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">電源スイッチを入れます。</td></tr>
<tr><td>メニューダイヤルを豆からに合わせます。

</td><td>メニューダイヤルを粉からに合わせます。

</td><td>メニューダイヤルをミルに合わせます。
 
</td></tr>
<tr><td>ミルダイヤルを回してお好みの挽き目に合わせます。</td><td></td><td>ミルダイヤルを回してお好みの挽き目に合わせます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">抽出温度ダイヤルをお好みの温度に合わせます。
 
</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">湯量ダイヤルをカップ数に応じて合わせます。

</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">スタート / ストップボタンを押して動作を開始します。（ピッという音が鳴ります）</td></tr>
<tr><td colspan="2">抽出後、保温 LED が白く点灯しピピッという音で出来上がりをお知らせします。</td><td>5 分後、自動停止します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">コーヒーカップに注ぎ、スタート / ストップボタンを押して保温を切ります。
※保温は 20 分後に自動的に OFF になり、保温 LED が消灯します。</td><td>ドリッパーとガラスサーバーを取り出し、そのままハンドドリップしてください。</td></tr>
<tr><td>ご使用後</td><td colspan="3">ガラスサーバー、サーバーふた、ドリッパーを洗い十分乾かしてください。</td></tr>
</table>

アフターサービス

1. 保証書

裏表紙に添付しています。
保証書は「お買い上げ日」と「販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げ日から 1 年間です。
なお、保証書期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」に修理をご相談ください。

- 保証期間中の修理
  保証書の規定により無料修理します。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」までお申し出ください。
- 保証期間がすぎている修理
  修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」にご相談ください。

4. 補修用性能部品の最低保有期間

このハンドドリップコーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後、5 年です。
補修用性能部品とはその商品の機能を維持するために必要な部品です。

5. アフターサービスについてご不明の場合

お買い上げの販売店または「エディオンサービスセンター」にお問い合わせください。

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共通化のため、一部予告なしに仕様や色を変更することがあります。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取扱い・修理に関してはお買い上げの販売店へご相談ください。

※お買上げの販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は各窓口へお問い合わせください。
ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。
ご質問の内容によりましては適切な回答のためにエディオングループ各社ならびに関係会社に情報を提供する場合がございます。
ご提供頂いたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。
※エディオングループ個人情報保護方針　http://www.edion.co.jp/privacy/

ご相談窓口　～商品に関するお問い合わせ～

■エディオンお客様相談センター

ナビダイヤル **0570-07-0557**（有料）

営業時：月曜日～金曜日（土日祝・年末年始除く）
受付時間：9:30 ～ 18:30
〒 530-0005
大阪府大阪市北区中之島二丁目 3 番 33 号
大阪三井物産ビル

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いないようにお掛けください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2019 年 1 月時点）

修理窓口　～修理に関するお問い合わせ～

■エディオンサービスセンター

ナビダイヤル **0570-06-0119**（有料）

営業時：月曜日～日曜日（年中無休）
受付時間：9:00 ～ 20:00

※年末年始に関しては受付時間が変更される場合がございます。

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いないようにお掛けください。
●電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。（2019 年 1 月時点）

⚠ 警 告

お客様ご自身の修理は大変危険です。
絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

仕様

■仕様

<table>
<tr><td colspan="2">電源</td><td colspan4>AC100V 50 - 60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">製 品 寸 法（約）</td><td colspan4>幅 160 ×奥行 370 ×高さ 375mm</td></tr>
<tr><td colspan="2">製 品 質 量（約）</td><td colspan4>4.3kg（付属品除く）</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源コード長（約）</td><td colspan4>1.4m</td></tr>
<tr><td rowspan="3">（製品全体）コーヒーメーカー</td><td>定格消費電力</td><td>610W</td><td rowspan="3">（ミルのみ）コーヒーミル</td><td>消費電力</td><td>40W</td></tr>
<tr><td>定格容量</td><td>450ml（3 カップ）</td><td>定格容量</td><td>36g</td></tr>
<tr><td>温度ヒューズ</td><td>保温ヒーター用：167℃ 2 個
湯沸しヒーター用：184℃ 2 個</td><td>定格時間</td><td>5 分</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ガラス容器</td><td>品名</td><td colspan4>耐熱ガラス製器具</td></tr>
<tr><td>使用区分</td><td colspan4>コーヒーメーカー用</td></tr>
<tr><td>耐熱温度差</td><td colspan4>120℃</td></tr>
</table>

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国では使用できません。
海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

愛情点検

★長年ご使用のハンドドリップコーヒーメーカーの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか。	●本体が異常に熱い。●電源プラグや電源コードが異常に熱くなる。●電源コードに傷が付いていたり、触れると通電しなかったりする。●こげくさい臭いがする。●ガラスサーバーのハンドルがぐらつく●その他の異常･故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず製造元にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは製造元にご相談ください。